

見学旅行に思いを馳せて

…仲間たちと何を学んでくるか

いよいよ見学旅行に向けての取り組みが本格的になってきます。

見学旅行は、気心が知れた友人同士で本当に行きたいところだけを訪れる"バカンス旅行"とは本質的に異なります。グループや行動範囲に規制がある中で見聞を深めること(研修すること)が目的なのです。

インターネットの時代、Goo O le O arth などを使えばまるでその場にいるかのように風景を眺めることができます。しかし、その季節々々における町並みの味わい、古典に登場する清水寺の舞台の高さ(それが釘を使わずに建てられている!)、奈良の大仏さまのスケール、など実際に体感することにも大きな意味があります。

そしてさらに、それぞれの歴史的背景や成り立ちなどを事前にきちんと調べておくことで研修はより一層も二層も深いものになります。その場所や施設について詳しく調べれば調べるほど実物を見てみたくなるはずで、夏季休業の期間を下調べの時間として、ぜひ有効に活用してください。

さて、まずは研修のための班編成です。3泊4日の日程の中2日間の研修がこの班をベースに行われます。とはいえ、上に述べたように班や部屋割の編成に固執せず、見学旅行の本来の目的に目を向けてください。

今後の予定

- 7/24(火) 全校集会
- 7/25(水) 北海道大学研究室訪問(理系)
- 7/25(水) ~ 8/16(木) 夏季休業
- 7/26(木) ~ 31 前期夏期講習
- 8/1 ~ 3 インターンシップ
- 8/7(火) ~ 12 後期夏期講習
- 8/13 ~ 15 学校閉庁日
- 8/15(水) 済生会インターンシップ
- 8/17(金) 全校集会・実力テスト
- 8/20(月) 実力テスト
- 8/25(土) 学校説明会(登校日)
- 8/26(日) 高2ハイレベル模試・看護模試
- 8/27(月) 振替休業

大学研究室訪問

…北海道大学文系 編

7/10(火) 実施

訪問先

アイヌ・先住民研究センター

大学院文学研究科言語文学専攻

大学院文学研究科人間システム科学専攻

参加した生徒のレポートを掲載します。

B組 Tさん

大学にそれぞれ特色があるということを自分では充分理解していたつもりだったが、商大、北大を比較して、学校側が生徒をどのように育てたいか、売りにしているポイントが全く異なることを知った。また、北大の色々な施設を通して講義室へ行ったので、整って充実していそうな部屋、建物をたくさん見ることができた。今まで商大が自分に合っていていいのではと思っていたが、心が揺れ、考え直そうと思った。

C組 Kくん

今回の北海道大学訪問でアイヌ文化の現状やそこからの発展と新渡戸稲造の生涯、著書『武士道』について学んだ。その中で自分が興味を湧いたのは、アイヌ文化の現状。今日、アイヌ語の話し手が減少しており、将来的に無くなるおそれがあるので「危機言語」とされている。その解決手段として北原さんは交通機関に組み込むことを提案し、4月から道南バスで使われている。自分もアイヌ文化の発展に期待したい。



7月25日には理系研究室へ訪問予定です。

早めに行えることは早めに済ませよう

提出物をめ切日に出すつもりでも、その日学校を休んでしまえば期限を守れません。提出できるときに早めに提出しておきましょう。

授業の準備も同じです。ベルが鳴ってから準備をしては遅いのです。